

### 眼科豆知識～飛蚊症とその検査について～

#### 飛蚊症とは？

何かを見るとき、その目的とする物とは別に、視界に蚊や糸くずのようなものが飛んでいるように見える症状を飛蚊症といいます。飛蚊症の多くは眼球の中の硝子体というところに濁りが生じるか、**眼底出血**のように網膜に異常があった際に自覚します。

硝子体の濁りは、**ブドウ膜炎**などの炎症、**硝子体出血**、**腫瘍**、などに起因することがありますが、加齢とともに生じてくる濁りによる、**生理的硝子体混濁**というものが大部分です。

#### 生理的硝子体混濁は心配ないのでしょうか？

生理的硝子体混濁はなくなることはほとんどありませんが、症状に変わりがなければ、経過をみていただきます。硝子体が縮んでくる過程で網膜を引っ張ってしまうと網膜に穴が開くことがあり、(網膜円孔、網膜裂孔)穴をそのままにしておくと、網膜剥離になることがありますので、網膜剥離を予防するレーザー治療を行います。

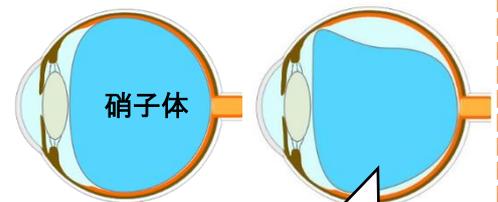
飛蚊症が生じたときに眼底検査を行い、異常がなかった際でも、のちに急な飛蚊症の増加、**光が飛んで見えるような感じ(光視症)**、**視野の欠損**が見られたら直に眼科を受診していただくことが大切です。

その際に**散瞳検査**を行うことが一般的です。

#### 散瞳検査とは？

点眼薬にて瞳を拡げて眼の奥を詳しく診る検査で、糖尿病網膜症、眼底出血などの、網膜の病気を診察する際に必要になります。点眼してから、30分から60分で瞳は拡がり、検査が可能になります。

散瞳検査を行った後は、広がった瞳が元通りになるまで、4-5時間要します。それまでの間は、とてもまぶしく、ピントが合いにくい状態が続きます。お帰りの際、車が必要な方は、公共交通機関を利用されるか、お迎えに来ていただくなど、患者様ご自身での運転は控えていただきますよう、お願いいたします。



ここに濁りができると  
飛蚊症を  
自覚することがあります。

### 院長より皆さまへ

梅雨明けから暑さの厳しい日が続いておりましたが、9月に入り急に朝夕は涼くなってまいりました。クリニックの駐車場でも時折トンボを見かけるようになり、秋の訪れを感じます。秋とともに、本格的な台風シーズンになりましたが、全国での被害は最小限であってほしいと願うばかりです。

今年も残すところあと4カ月となりました。引き続き感染対策に努めて、皆様の目の健康に貢献できるようスタッフ一同頑張っております。これからも宜しくお願い致します。

HPにてスタッフブログも更新中です！

[morishita-eye.jugem.jp](http://morishita-eye.jugem.jp)



### 9月診察時間変更のお知らせ

学校検診のため、受付時間を下記のとおり変更させていただきます。ご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願い致します。

9月9日(水) 9:00-12:00

9月16日(水) 9:00-11:30

